

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 1-1 防災・減災対策の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 道路課、治水課、建築住宅課、市街地整備課、経営課、警防課

1. 目的

市民の防災・減災に対する意識を高めるとともに、災害に備えるまちづくりを進めます。

2. 展開内容

市民や関係団体・機関と連携し、防災・減災に対する意識の向上と自助・共助・公助の体制強化を図るとともに、防災体制を整備し、発生した災害には、速やかに対応します。

さまざまな自然災害や新たな感染症など市民の生命・身体及び財産に危険が及ぶ非常事態発生時に迅速に対応できるよう、適切な情報伝達に努めるとともに、市民や関係機関と連携し、防災体制の整備及び危機管理体制の強化に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
自治会による自主防災組織の組織率	%	目標値		71.1	71.6	72.2	73.9
		実績値	70.5(R2)	72.6			
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	組織	目標値		19	20	22	25
		実績値	18(R2)	18			
消防団訓練参加率	%	目標値		60以上	60以上	60以上	60以上
		実績値	60(R1)	90			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
自治会による自主防災組織の組織率	達成	未設置の自治会に対し、自主防災組織の目的などを丁寧に説明をし、自助、共助の大切さを理解してもらえたことが設立に繋がったと思われます。今後も引き続き未設置の自治会に対して、丁寧に説明をし理解を得られるよう進めていきます。
自治会への避難行動要支援者名簿の提供数	未達成	各自治会に避難要支援者名簿の提供について、自主防災組織連絡協議会の総会において周知し、丁寧な説明をしてきました。令和4年度は1件の申し出がありましたが、年度の途中で解除があったことから達成状況は遅延となりました。今後も引き続き随時受付を行うとともに、制度に関する説明についても随時実施していきます。
消防団訓練参加率	達成	令和4年度は、新型コロナ対策として、訓練の実施方針や内容を考慮し、参加人数に制限等を設けた上で実施しました。このため目標設定を超えることができました。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	190の自治会のうち138の自治会が自主防災組織を設立してるが、さらに設立数を増加させるためには、さらなる周知・啓発が必要である。しかし、自治会のなかでも高齢化が進み、なかなか組織を担い手が不足しているなどの理由から設立に至ってない自治会がある。引き続き市としてもそのような自治会に対し、支援をしながら組織設立について促していきます。

施策を主管する部長の評価コメント
防災対策については、自助・共助が重要になります。自治会・自主防災組織等への支援等を通して、共助の防災意識を啓発していきます。公助については、災害対応のための庁内体制及び関係機関との連携の強化を推進していきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 1-2 浸水対策の推進

主管課 : 建設部 治水課

関係課 :

1. 目的

台風や大雨等による浸水被害を少なくするための取組を進めます。

2. 展開内容

市街地での浸水被害を解消するため、計画的な雨水幹線などの整備を進めます。
さらに、開発事業者への雨水流出抑制施設設置の指導などにより、浸水対策の普及を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度 当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			目標値	68.2	69.3	70.5	74.0
浸水対策達成率	%	実績値	67.0(R2)	67.9			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
浸水対策達成率	未達成	柴崎地区、若松地区、布佐地区で重点的に浸水対策を進めていますが、各地区において工事用地の確保や不明埋設物の対応などの様々な問題があります。浸水対策に遅れないように進めていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	市街地での浸水被害を解消するために、重点的に柴崎排水区と布佐排水区で幹線整備工事、若松地区でバイパス管整備工事を行うとともに、市内各地で緊急浸水対策工事を行いました。 さらに、開発事業者や建築事業者などへの雨水流出抑制施設設置の指導などにより浸水対策の普及を図りました。

施策を主管する部長の評価コメント
水害に強いまちづくりの一環として、床上浸水が発生している地区の整備を重点的に進めました。近年では整備の効果もあり、被害が軽減していますので、引き続き行っていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 1-3 防犯対策の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 商業観光課、指導課

1. 目的

犯罪の起こりにくい環境づくりと、市民の防犯意識の向上を図ります。

2. 展開内容

防犯協議会や地域のボランティア団体、警察などと連携強化を図りながら、特殊詐欺などの身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組み、犯罪の起こりにくい環境整備を進めます。

また、地域での防犯パトロールなど自主的な防犯活動への支援を行い、市民の防犯意識の向上を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
刑法犯認知件数	件	目標値		590以下	590以下	590以下	590以下
		実績値	590(R2)	507			
市内一斉パトロール延べ参加者数	人	目標値		1,497	1,511	1,526	1,570
		実績値	1,482(R2)	1,973			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
刑法犯認知件数	達成	地域のボランティア団体などが警察と連携を図りながら、身近な犯罪の情報提供や相談、啓発活動に取り組んだ結果、犯罪件数の減少に繋がったと思われます。今後も引き続き、関係機関と連携を図り犯罪の減少に努めていきます。
市内一斉パトロール延べ参加者数	達成	令和3年度は、新型コロナ拡大防止の観点により参加人数を制限して実施していましたが、令和4年度は、感染予防を行った上で、実施方法などを工夫したため参加人数が増加しました。今後も参加人数の制限等を設けずに、工夫をしながら実施していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	・小中学校等での交通安全教室や誘拐防止教室、交通安全・防犯に関する講和の実施や防犯パトロールについては、警察署、防犯協議会、ボランティア団体等と連携を図り実施することができました。引き続き関係機関と連携を図り防犯意識の向上に努めていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
交通・防犯対策については関係機関との連携強化を推進し、安全対策の充実を図ります。空家対策については、空家等対策の推進に関する特別措置法及び我孫子市空家等対策計画に基づき、適切に対応していく必要があります。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 1-4 消防力の強化

主管課 : 消防本部 警防課

関係課 : 消防本部総務課、予防課

1. 目的

火災などの災害から市民を守るため、消防・救急・救助体制を充実します。

2. 展開内容

災害などに適切に対応できるよう消防施設・装備を充実し、近隣自治体や関係団体との連携を図りながら消防体制を強化します。

また、火災予防体制の強化を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	%	目標値		68.4	74.7	81.0	100
		実績値	56.5(R2)	62.1			
住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	人	目標値		0	0	0	0
		実績値	0(R2)	1			
救命講習年間受講者数	人	目標値		5,958	6,338	6,718	7,800
		実績値	5,578(R1)	3,222			
消防用設備等の点検報告率	%	目標値		55.8	58.7	61.5	70.0
		実績値	53.0(R2)	54.3			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
災害出動覚知から現場まで8.5分以内の到着できた割合	未達成	災害出動件数の増加に伴う管轄外出動件数の増加が、目標の未達成要因であると考えられます。今後は、目標を達成できるよう出動体制等の見直しを図ります。
住宅火災による死者数※放火自殺者を除く	未達成	令和4年度は、住宅防火対策の推進及び立入検査等については、事業計画どおりに実施することができました。今後も住宅火災による死者数軽減のため、住宅用火災警報器の適正な設置、維持管理等を広報、指導し死者数0を目指します。
救命講習年間受講者数	未達成	令和4年度は、新型コロナの感染拡大による影響を受け、開催場所や参加人数に制限を設けていたため、目標を達成できませんでした。今後は、開催場所等の制限を緩和し、目標を達成できるよう啓発活動を強化します。
消防用設備等の点検報告率	未達成	令和5年3月に、消防用設備等点検報告未実施の建物関係者に対し、消防用設備等点検報告制度の必要性や建物関係者等が自身の責務である旨の文書を発送しました。今後の点検報告率向上を目指します。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調とはいえない	<p>新型コロナの感染拡大等による影響を受け、災害出動件数が大幅に増加しました。これに伴い現場到着までの時間が延伸しました。また、応急手当普及業務についても、新型コロナに対応した実施方法で開催をしたが、受講者数の目標を達成することができませんでした。</p> <p>今後は、火災予防体制の強化も含めた消防力の強化に向け、実施事業の体制整備を図ります。</p>

施策を主管する部長の評価コメント
<p>新型コロナの感染拡大等による影響で、未達成となった基本目標が多くあったが、訓練等の実施方法を工夫することにより、目標を達成した事業もありました。</p> <p>今後については、未達成となった事業について改善を図るとともに、全ての事業が目標を達成できるよう体制の整備に努め、消防力の更なる強化を図ります。</p>

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 1-5 交通安全の推進

主管課 : 市民生活部 市民安全課

関係課 : 道路課

1. 目的

交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、安全な交通環境の整備を進めます。

2. 展開内容

交通事故から市民を守り、交通マナーや安全意識の向上を図るため、警察などの関係機関と連携し、安全な交通環境の整備を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
交通事故による死者数	人	目標値		3以下	3以下	2以下	2以下
		実績値	4(R2)	2			
交通事故の発生件数	件	目標値		241	241	240	240
		実績値	242(R2)	212			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
交通事故による死者数	達成	交通の安全を確保するため、危険が伴う道路などに注意喚起の看板を設置しています。
交通事故の発生件数	達成	ポスターやチラシなどで啓発活動を推進しています。また、警察・交通安全協会と連携し、交通安全教室を行い、交通安全意識や交通マナーの向上を図っています。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	警察、交通安全協会等と連携し、交通安全教室などの啓発活動を行い交通安全意識の向上、交通事故の防止を図ることが重要と考えます。新型コロナの影響を受け、実施する回数が減少していたが、今後も引き続き、継続的に実施することで交通安全に対する意識が向上し、交通事故の防止につなげていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
警察と市等が連携し、全国好通安全運動を基にした啓発活動を子どもや高齢者へ行うことが重要でと考えます。今後も引き続き、交通安全啓発事業を実施し、より多くの市民に啓発をしていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 2-1 地域福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 : 高齢者支援課、クリーンセンター

1. 目的

人と人がつながり、地域のみんなで助け合い支え合う環境づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指し、地区の特色を活かしながら、自助・互助・共助・公助それぞれが役割を担い、人と人のつながりや支え合いの推進体制を充実していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
民生委員定員充足割合	%	目標値		91.4	93.1	94.9	100
		実績値	89.7(R1)	89.8			
社会福祉協議会のボランティア登録者数	人	目標値		6,826	7,221	7,616	8,800
		実績値	6,431(R2)	6,919			
孤立死の件数	件	目標値		2以下	1以下	1以下	0
		実績値	2(R2)	0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
民生委員定員充足割合	未達成	令和4年度は、一斉改選の年で多くの民生委員が定年などで退任しました。後任者探しに各民生委員にも協力してもらったが、思うように見つからず目標には届きませんでした。令和5年度以降も引き続き後任者を探していきます。
社会福祉協議会のボランティア登録者数	達成	令和4年度途中から新型コロナウイルス感染拡大防止のための自粛が緩和されてきたことから、ボランティア数も増加し、目標値を超えたと思われます。
孤立死の件数	達成	実績数値としては下回っているが、孤立死の通報がなかったことについては評価して良いと思われれます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	孤立死防止対策事業では、見守りの協力を行う事業者が2事業者増え、未見守りの体制を強化することができました。孤立死の通報がなかったことについては、市民や社会の支えあいの推進により孤立死が未然に防ぐことができていると評価しており、引き続き見守り体制の充実を推進していきます。

施策を主管する部長の評価コメント
子どもから高齢者まですべての市民が、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指す中、孤立死防止対策事業では、協力事業者を増やすことで、体制の強化を図りました。引き続き、人と人とのつながりと地域の支えあい体制を強化していくため、民生委員やボランティアなど、地域福祉の担い手の確保を図っていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 2-2 健康づくりの推進

主管課 : 健康福祉部 健康づくり支援課

関係課 : 国保年金課

1. 目的

誰もが心身ともに健康でいきいきと暮らすことができる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに応じて、市民一人ひとりが主体的な健康づくりに取り組みやすい環境づくりを進めます。

また、関係機関と連携しながら、地域医療体制の充実を図るとともに、感染症対策に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
特定健康診査の受診率	%	目標値		54.0	60.0	-	60.0(R5)
		実績値	31.7(R2)	34.7(R3)			
特定保健指導の実施率	%	目標値		45	60	-	60.0(R5)
		実績値	40.1(R2)	29.3(R3)			
がん検診受診率	%	目標値		7.7	9.2	10.7	15.2
		実績値	6.2(R2)	7.1			
救急搬送者の市内医療機関収容率	%	目標値		90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持	90以上を維持
		実績値	98.5(R2)	97.4			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
特定健康診査の受診率	未達成	前年度より上昇しているが、未だ目標と比して低い状況です。近年受診歴のある者への個別通知や、生活習慣病治療中だが健診未受診である者が多く通う医療機関に直接健診の協力依頼を行い、受診勧奨を進めていきます。
特定保健指導の実施率	未達成	近年上昇を続けていましたが、コロナ禍もあり実施率は停滞しています。特定集団健診における初回面接の分割実施を進めていくほか、特定保健指導を実施する医療機関で特定保健指導対象となった者から、直接特定保健指導利用予約の電話を受けるなどの取組により、利用拡大を進めていきます。また、交通の便が良い我孫子駅周辺でも特定保健指導を実施する機会を増やしていきます。
がん検診受診率	未達成	前年度より上昇しているが、コロナ禍もあり、目標は未達成となりました。今後も個別の受診勧奨を行っていく他、広報、SNSを利用して、がん検診の重要性を周知していきます。
救急搬送者の市内医療機関収容率	達成	R3年度に比べて搬送者数は増加傾向にありましたが目標値を上回る収容率を維持できました。 R5年度より市内救急病院数が6病院から5病院に減少するため、指標の割合については動向を注視していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	がん検診、歯科健診、特定健診など各種健（検）診の必要性について、広報や様々な健康教育等の機会を活用して、周知・啓発を実施したことで、疾病の早期発見・治療につながられました。引き続き、市民の健康増進を図っていくため、各種健（検）診の内容の充実と受診率向上を目指していく必要があります。

施策を主管する部長の評価コメント
「各種健（検）診の充実」は、生活習慣病により医療費の増大という社会状況や健康増進への市民ニーズにも適応しており、重要な施策です。疾病の早期発見や早期治療につながる取り組みを積極的に進め、市民一人ひとりの健康寿命を延伸できるように各事業を推進していきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 2-3 高齢者福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 高齢者支援課

関係課 :

1. 目的

高齢者が生きがいを持ち、住み慣れたまちで自分らしくいきいきと生活できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく健康にいきいきと生活できるよう支援します。
また、地域での見守りを推進するとともに、地域包括ケアシステムを充実し、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
要支援・要介護認定率	%	目標値		18.2以下	18.2以下	18.2以下	18.2以下
		実績値	16.3(R2)	17.8			
きらめきデイサービス利用者数	人	目標値		1,367	1,393	1,420	1,500
		実績値	1,340(R1)	916			
認知症サポーター養成者数	人	目標値		13,738	14,951	16,163	19,800
		実績値	12,526(R2)	14,703			
高齢者なんでも相談室への相談件数	件	目標値		29,114	30,291	31,469	35,000
		実績値	27,937(R2)	31,514			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
要支援・要介護認定率	達成	現況値より増加したものの、「強化型きらめきデイサービス事業」「遊具うんどう教室」など、高齢者が介護予防の必要性を理解するとともに、身近な地域で自ら介護予防に取り組むことができる環境づくりが進んだため、目標値を達成できました。
きらめきデイサービス利用者数	未達成	新型コロナの影響により、令和2年度に利用者が激減しました。その後感染症による制限が緩和されるにつれ、徐々に利用者が増えてきてはいますが、令和4年度の目標値には届きませんでした。
認知症サポーター養成者数	達成	講座の開催回数：R3 18回、対象者数 927人、R4 29回 対象者数 1,250人 対象者：住民、企業・職域、小中学校、高校、大学、行政 認知症の啓発により、認知症サポーター登録数は幅広い世代で増加しています。今後は認知症サポーターが地域で活動できる場所や方法等の体制づくりが必要であると考えます。
高齢者なんでも相談室への相談件数	達成	高齢者なんでも相談室への相談支援延べ件数は増加傾向にあり、市民に身近な相談窓口として認知されていると言えます。また、虐待等の支援困難事例への対応が増加していることから、高齢者分野だけでなく、庁内関係各課と密に連携しながら相談支援を実施する必要があると考えます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	高齢になっても自分らしく安心して暮らし続けられ地域づくりを推進するために、地域課題の解決に向け、地域の関係機関や専門職と連携して支援することができました。

施策を主管する部長の評価コメント
新型コロナの影響により中止・縮小した事業もある中で、「介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を推進し、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みました。引き続き施策を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう環境づくりに取り組むことが重要です。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 2-4 障害者福祉の推進

主管課 : 健康福祉部 障害者支援課

関係課 : あらき園、障害者福祉センター

1. 目的

障害のあるすべての人の個性が尊重され、自分らしく安心して暮らせる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

障害のあるすべての人の個性が尊重され、地域の中で自分らしく安心して暮らせるよう、介護、訓練、医療給付、相談支援など、総合的な支援体制を充実していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
在宅福祉サービスの延べ利用者数	人	目標値		2,548	2,613	2,679	2,875
		実績値	2,482(R2)	2,654			
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	人	目標値		10,862	11,560	12,258	14,352
		実績値	10,164(R2)	12,428			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
在宅福祉サービスの延べ利用者数	達成	サービスの供給需要に対し、不足なくサービスを提供することが出来ました。引き続きサービス提供体制を整え、サービスが過不足なく提供されるよう整備していきます。
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	達成	サービスの供給需要に対し、不足なくサービスを提供することが出来ました。引き続きサービス提供体制を整え、サービスが過不足なく提供されるよう整備していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	介護、訓練、医療給付、相談支援などの、総合的な支援体制を充実させると共に、子どもや高齢者、医療機関などの関係機関と連携して支援することができました。

施策を主管する部長の評価コメント
新型コロナの影響により中止・縮小した事業もある中で、障害者プランの推進、障害者サービスに関する相談支援、経済的支援をできるだけ工夫して実施しました。引き続き施策を推進することが重要です。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 2-5 生活支援の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 : 高齢者支援課、国保年金課

1. 目的

社会保障制度が理解され、医療や生活保障を必要な人が受けられる体制づくりを進めます。

2. 展開内容

年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係機関と連携を図りながら、相談支援体制を充実していきます。

生涯にわたって安心して生活できるよう、必要な医療・介護・年金などの社会保障制度の円滑な運営に努めるとともに、市民の健康の保持増進を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
被保護者就労支援事業による就職率	%	目標値		46.9	50.9	55.0	67.0
		実績値	42.9(R2)	67.5			
介護保険料収納率	%	目標値		99.4	99.4	99.5	99.5
		実績値	99.4(R2)	99.4			
国民健康保険税収納率	%	目標値		93.7	93.8	93.9	94.2
		実績値	93.6(R2)	93.9			
後期高齢者医療収納率	%	目標値		99.7	99.7	99.8	99.8
		実績値	99.7(R2)	99.6			
国民年金保険料納付率	%	目標値		76.8	76.9	76.9	77.0
		実績値	76.8(R2)	81.4			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
被保護者就労支援事業による就職率	達成	新規生活保護受給者に対して、就労意欲が低下しないよう早期に就労支援プログラムへの参加を促したことが、実績値を伸ばす要因となったと思われます。
介護保険料収納率	達成	納付方法の多様化により利便性を向上させるとともに、債権回収室との連携、督促や催告を適切に実施したため、達成できたものと考えます。
国民健康保険税収納率	達成	督促や滞納整理をおこない、目標を達成することができました。今後も新たな滞納者が増えないよう督促を行っていきます。
後期高齢者医療収納率	未達成	督促・催告通知に加え、分納不履行者に対して電話催告をするなど、保険料の徴収に努めたが、目標には届きませんでした。今後も目標を達成できるよう、滞納者には納付相談を促し、新たな滞納者が増えないよう督促を行っていきます。
国民年金保険料納付率	達成	納付案内の際、前納、口座、クレジット納付や、納付困難な場合の免除申請等のご案内を丁寧に行うことにより、納付率向上に向けて一定の成果が得られました。 今後も年金制度を理解していただけるよう丁寧な説明、正確な情報提供に努め、納付率の向上を図っていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	生活困窮者に関する相談窓口を直営で設置していることから、様々な課題を抱える方への支援を、関係する課や関係機関と横断的に連携し支援することができました。また、生活保護制度や住居確保給付金の利用や、新型コロナや物価高騰に関する給付金事業の利用に適切につながることができました。就労支援においては、就職率を確実に伸ばすことができ、生活の自立促進につながる事業を運営することができました。

施策を主管する部長の評価コメント
年齢や性別に関わらず、誰もが地域の中で安心して暮らせるよう、関係課や関係機関と連携を密にし相談支援を行うことができました。引き続き、生活に困りごとを抱える市民に対し、適切な相談支援を行えるよう体制を整備し、生活困窮者の早期自立を図ることは重要です。さらに、国民健康保険を含めた社会保障制度の適切な運営を引き続き行っていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援

主管課 : 健康福祉部 健康づくり支援課

関係課 : 社会福祉課、子ども支援課、保育課、子ども相談課、学校教育課

1. 目的

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援に取り組みます。

2. 展開内容

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。
 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。
 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
保育園等の待機児童数	人	目標値		0	0	0	0
		実績値	0	0			
妊婦健康診査受診率	%	目標値		95.8	96.6	97.5	100
		実績値	94.9(R2)	97.4			
麻しん風しん予防接種対象者の接種率	%	目標値		96.8	97.4	98.1	100
		実績値	96.1(R2)	89.5			
学童保育室入室許可割合	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	96.5(R2)	97.9			
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	100(R2)	100			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
保育園等の待機児童数	達成	第三次我孫子市保育園等整備計画により、利用定員の整備を行っているため、保育ニーズに合った定員数となっています。保育の希望が多様になっていることから、今後も保育士等の確保に努め、待機児童ゼロを継続していきます。
妊婦健康診査受診率	達成	目標値を達成することができました。今後も妊婦健康診査の受診勧奨を進めていきます。
麻疹風しん予防接種対象者の接種率	未達成	新型コロナウイルス感染回避のための医療機関受診控えの影響で、接種率が減少しました。 ホームページや広報での周知を行っていくほか、保育園・幼稚園への接種勧奨のお知らせや就学時健診等での案内配布、未接種勧奨、健診等での個別通知の実施を継続し、接種率向上に努めます。
学童保育室入室許可割合	未達成	入室希望が施設の定員を超えた学童保育室において、5・6年生の入室申請に対し、不許可決定を行ったため未達成となりました。今後、希望者が入室できるような方策の検討が必要と考えます。
緊急性の高い通告について48時間以内に調査を行った割合	達成	関係機関とのネットワークを利用して調査し、48時間以内の安全確認及び目視を行っています。 今後も引き続き実施していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	母子保健は妊婦・産婦・乳幼児とその保護者が健康に過ごすために重要であり、一生の健康の基盤となるものです。妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援を行うため、「母子保健の充実」を掲げた事業を着実に実現していきます。

施策を主管する部長の評価コメント
核家族化や子どもの虐待が社会問題となる中、母子保健事業を推進し、育児不安の軽減や育児の孤立化を防ぐことは、健やかな親子関係の育成、子どもへの虐待防止、産後うつ等への予防にもつながるため、重要です。今後も妊娠・出産・育児に関する相談体制を充実させながら推進していきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 3-2 子どもの成長に応じた発達への支援

主管課 : 子ども部 子ども相談課

関係課 : こども発達センター、教育相談センター

1. 目的

子どもとその家族が身近な地域で安心して生活できるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組めます。

2. 展開内容

家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	%	目標値		97	97	98	100
		実績値	96(R2)	97			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
受理面接後、子どもとその保護者に対して相談や療育につながった割合	達成	初回面接時に保護者のニーズを聞き取り、お子さんの発達状況や発達特性を把握し、適切に理解し、受け入れられるように支援を行いました。その結果、早期に適切な相談・療育につなげることができました。一方で、「保護者の就労等の都合がつかない」、「相談・療育の必要性を感じない」などの理由で相談や療育につながらないケースがありました。今後もいつでも相談が受けられるような体制を整えていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	発達に支援が必要な子どもの早期発見・早期療育に関係機関が連携して取り組みました。また、療育・教育システム連絡会の機能を活用することで、ライフステージに応じた一貫したシステムを構築するための検討・推進を図りました。

施策を主管する部長の評価コメント	
保護者と子どもの初回面接を丁寧に実施し、発達に支援が必要な子どもの早期発見・早期療育に関係機関が連携して取り組めたため、目標を達成できたものと評価します。	

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 3-3 魅力ある学校づくり

主管課 : 教育総務部 指導課

関係課 : 秘書広報課、教育総務部総務課、学校教育課、教育相談センター

1. 目的

確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもたちの個性や人権を尊重しながら、個々の能力を伸ばすとともに、生きる力の育成を基盤に、確かな学力の定着と体力の向上に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度 当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			目標値	100	100	100	100
不登校児童生徒への対応率	%	実績値	100(R2)	100			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
不登校児童生徒への対応率	達成	各担任が、電話連絡や家庭訪問、あるいは面談等を行い、不登校児童・生徒本人そして家庭との繋がりを常に保っています。また、教育支援センター「かけはし・ひだまり」や各校の校内教育支援センターが連携し、不登校児童・生徒の支援を効果的に行っているとともに、教育相談センターの指導主事、心理相談員も関わって対応しています。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	子ども達に「生きる力」を付けることを目指し、様々な具体的取り組みをとおし、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成に尽力しました。また、教職員の資質向上に向けた研修の充実を図りました。引き続き、子ども達の創造性と自主性を育む学校教育の充実を図っていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
施策に係る事務事業を着実に実行し、学校教育環境を充実させ、子どもがいまいきと過ごすことができるように努めた。引き続き、心身ともに健康であり、確かな学力の定着と体力の向上を図り、魅力のある学校づくりを進めます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 3-4 心豊かにする体験・活動の推進

主管課 : 子ども部 子ども支援課

関係課 : 文化・スポーツ課、図書館

1. 目的

子どもたちが将来に夢や希望をもち、心豊かに成長できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
あびっ子クラブ登録率	%	目標値		54.6	55.7	56.8	60.0
		実績値	53.5(R2)	52.14			
チャレンジタイムの平均実施回数	回	目標値		142.9	152.3	161.8	190.0
		実績値	133.5(R1)	184.0			
あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	%	目標値		8.33	8.52	8.70	9.25
		実績値	8.15(R1)	8.33			
げんきフェスタに参加した子どもの割合	%	目標値		5.16	5.28	5.39	5.73
		実績値	5.05(R1)	3.48			
学校への調べ学習支援件数	件	目標値		74	75	77	80
		実績値	73(R1)	42			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
あびっ子クラブ登録率	未達成	令和元年度末から令和2年度にかけて、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、あびっ子クラブを休室して以降、利用登録者が減少しているあびっ子クラブがあるため、目標値を下回りました。
チャレンジタイムの平均実施回数	達成	サポーターによるチャレンジタイムは新型コロナウイルス感染拡大により減少しましたが、コーディネーターをはじめとする放課後対策事業スタッフの創意工夫によるチャレンジタイムを開催することができたため、回数が増加しました。
あびこ子どもまつりに参加した子どもの割合	達成	令和4年9月のBA.5対策強化宣言終了を受けて、市民の社会活動が回復した時期であったことに加え、効果的に市民に周知することができたためと考えられます。（令和4年10月16日開催）
げんきフェスタに参加した子どもの割合	未達成	新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、参加団体数や会場規模を縮小して開催したことが要因と考えられます。（令和4年6月19日開催）
学校への調べ学習支援件数	未達成	新型コロナの影響により、依頼件数が減少しました。ただし、令和3年10月から移動図書館車による市内小中学校への巡回を開始したことで、あわせて調べ学習の団体貸出依頼が徐々に増えてきています。今後も移動図書館車による学校巡回とともに学習支援を行っていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	コロナ禍により、集団での活動が困難であったがために、活動を待ち望んでいる方たちもいます。単にコロナ禍前の活動を実施するのではなく、目的に近づくための新たな環境づくりが求められます。

施策を主管する部長の評価コメント
新型コロナの影響で、活動が制限されましたが工夫しながら施策を展開しました。今後も家庭・地域・学校と連携を深めた施策の推進が必要です。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 4-1 企業立地の推進

主管課 : 環境経済部 企業立地推進課

関係課 :

1. 目的

多様な企業の誘致を進め、雇用機会の拡大を図ります。

2. 展開内容

企業立地を推進することで、新たな雇用の場を創出し、職住近接による定住化を図ることで恒久的な財源を確保するとともに、住工混在の解消や地域産業の活性化、既存企業の流出防止に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
創出した産業用地で働く市民の数	人	目標値		0	0	0	50
		実績値	—	0			
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	件	目標値		0	1	2	5
		実績値	—	0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
創出した産業用地で働く市民の数	達成	産業用地は令和9年度中の造成完了を目指して事業を進めているため、令和4年度の目標値は0となっています。令和9年度中の造成完了を目指し、事業を進めていきます。
企業立地に対する支援制度を活用した企業数	達成	補助金制度の仕組み上、令和4年度の支出はなかったものの、1企業の計画を認定しており、令和5年度に操業開始の確認後、令和6年度以降に支出（支援）する見込みです。今後、産業用地が創出されれば、当補助金のより一層の活用が見込まれます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調とはいえない	柴崎産業用地においては、令和4年度に土地利用計画案の策定を行う予定であったが、関係機関との協議により、調整池をはじめとした計画の変更が必要となりました。ただし、協議を重ねる中で、利根川への排水、国道法面の盛土など、事業を進める上で重要となる部分で国の理解を得ることができました。

施策を主管する部長の評価コメント
柴崎産業用地整備に関しては、市内事業者が大きく期待する事業であり、着実に進めていく必要があります。産業用地は、永続的に使用するものであるため、整備費用だけにとらわれず、将来に渡って必要となる安全性及び維持管理の優位性などを考慮し進める必要があると考えます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 4-2 就労支援の充実

主管課 : 環境経済部 企業立地推進課

関係課 : 障害者福祉センター

1. 目的

働きたい人が働ける環境づくりを進めます。

2. 展開内容

関係機関と連携しながら、求職者に対する就業に向けた情報や相談の場の提供などにより、就労機会の創出と定着を図るとともに、働きやすい職場づくりを実践する事業者に対する支援などを行い、雇用環境の充実を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	%	目標値		19.5	20.6	21.7	25.0
		実績値	18.4(R1)	21.5			
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	件	目標値		3	4	5	6
		実績値	3(R2)	3			
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値	100(R1)	100			
障害者の福祉的就労から一般就労への移行者数	人	目標値		19	19	20	20
		実績値	19(R1)	6			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
地域職業相談室が紹介した人が就職した割合	達成	新型コロナの感染拡大が落ち着きを見せ、以前の経済活動が戻りつつあることから、求人が増えていることが目標達成の一因と考えられます。
働きやすい職場づくりを実践する企業として国の認定を受けた事業者数	達成	働きやすい職場づくりを実践する市内事業者数に増減がなかったのは、厚生労働省が行っている各種認定制度について、企業側に広く知られていないものと考えられます。当該認定を受けている企業への支援策をはじめとして、認定を受けるメリット等について周知していきます。
障害者の就職後6か月経過時の職場定着率	達成	特別支援学校や就労移行支援事業所、相談支援事業所等と連携して就労定着支援を行った結果、職場定着が図れているものと評価します。
障害者の福祉的就労から一般就労への移行者数	未達成	障害者就労支援センターが就職準備支援をしている障害者の登録者数が減少しています。減少の理由は、障害者就労支援センターを介さず、就労移行支援事業所等を直接利用する障害者が増えたためと考えられます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	地域職業相談室については、コロナ禍において外出を控える人がいた中、企業の経済活動が戻ってきたこともあり、順調に施策を遂行できました。 厚労省認定（くるみん認定、えるぼし認定、ユースエール認定、もにす認定、安全衛生優良企業認定）については、認定を受けるメリット等について周知する機会も少ないことから、関係機関と連携して普及に取り組む必要があります。

施策を主管する部長の評価コメント
求職活動を行う市民にとって、地域職業相談室の担う役割は大きいため、今後は、より来訪しやすい施設となるための検討が必要です。 厚労省認定については、我孫子市企業立地促進補助金における上乘せメニューでもあるため、同補助制度による支援に即し周知していくことも必要です。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 4-3 商工業の振興

主管課 : 環境経済部 商業観光課

関係課 : 企業立地推進課

1. 目的

地域経済を支える中小企業等への支援を行うとともに、起業・創業しやすい環境づくりを進めます。

2. 展開内容

中小企業への支援をはじめ、起業・創業に対する支援、商店会や商工業者などへの支援に取り組み、商工会と連携して商工業の振興に関する施策を総合的に推進していきます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
商店街団体等への年間支援件数	件	目標値		16	17	17	18
		実績値	16(R2)	16			
市内の事業者数（納税義務者数）	件	目標値		4,360	4,408	4,456	4,600
		実績値	4,312(R2)	4,471			
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	件	目標値		65	76	88	123
		実績値	53(R2)	72			
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	件	目標値		20	26	32	50
		実績値	14(R2)	19			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
商店街団体等への年間支援件数	達成	コロナ禍の直撃を受けたが、商業者の創意工夫の余地を用意していたことでイルミネーションや非接触スタンプラリー等の新たな取組みを誘導でき、まちのにぎわいや交流人口拡大等に貢献できたと考えます。人口減少時代においても住宅都市としての豊かさを保つため、住民の日常生活を支える地域商業の活性化はますます重要性を増している中、商業者の努力と工夫を促し住民生活と商業活動の間にWin-Winな関係を導く持続可能な商業振興を実現する要の制度として、引き続き活用の推進に努めます。
市内の事業者数（納税義務者数）	達成	ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナといった混乱、記録的な物価高の影響等があったが、状況に応じた支援を実施したことで、市民税納税義務者数は増加傾向にあり引き続き経済環境を確保するために支援を行っていきます。
「我孫子市創業支援等事業計画」に基づく支援により起業・創業した累計件数	達成	平成25年度の国の認定以降、支援内容の拡充など、利用者の便宜を高めて来た事や、創業支援を始めて10年以上が経ち、広く市の創業支援への認識が広まってきたことが目標達成の一因と考えられます。ワンストップ相談窓口の利用件数も年々増加しており（R2:19件、R3:24件、R4:30件）、市内の起業希望者数は今後も増加が予想されます。利用者のニーズを探究し、効果的な支援策を展開しながら、市内起業者数を更に高めて参ります。
「我孫子市中小企業資金融資制度」の設備投資に係る新規融資件数	未達成	新型コロナの感染拡大時に実施されていた実質無利子無担保融資を利用している事業者が多数いることから、当該融資の返済等もあるため、新たな設備投資にお金をかけられない状況にあるものと考えられます。令和4年度の設備投資に係る融資件数は1件ですが、申込数自体は4件あり、コロナ禍前の申込数に近づいてきているため、今後、設備投資が増えていくものと見込まれます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	施策の指標として掲げた4つの指標のうち3つを達成をしており、順調と評価しました。コロナ禍においても、商店会や商工業者、創業者への支援は、状況に応じながら継続して行うことができ、その効果があったものと捉えています。

施策を主管する部長の評価コメント
持続可能な自立した都市として発展していくためには、市内商工業の振興はその原動力となるものです。コロナによる厳しい状況下では常とは異なる支援を行うことが求められましたが、柔軟に対応できたことは評価できます。今後も、アフターコロナの中で経済の正常化を促進できるよう取り組むことが非常に重要だと考えています。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 4-4 農業の振興

主管課 : 環境経済部 農政課

関係課 :

1. 目的

農業の生産性向上と持続的な発展を図るための環境づくりを進めます。

2. 展開内容

農業生産基盤の整備などによる生産性の向上と付加価値の創出、地産地消の推進、担い手の育成と確保などにより、農業の持続的な発展を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
農地利用集積面積	ha	目標値		294.6	313.7	332.8	390.0
		実績値	275.5(R2)	278.3			
新規就農者の経営体数	人	目標値		22	24	27	33
		実績値	20(R2)	23			
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	人	目標値		32	34	36	42
		実績値	29(R2)	27			
農産物直売所年間売上	千円	目標値		230,895	236,716	242,537	260,000
		実績値	225,074(R1)	272,626			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
農地利用集積面積	未達成	集積面積としては微増だが、地域における担い手が明確になっていないことから集積が進まず、目標値を下回りました。今後は地域計画の策定と併せ農地の集積を図っていきます。
新規就農者の経営体数	達成	新規就農希望者に対し、研修先の相談や営農計画の作成をはじめ農地の賃貸借まで、広くサポートを行ったことにより、1経営体が新規就農しました。引き続き、新規就農希望者の支援をはじめ、就農後の経営が継続できるよう関係各所との連携により支援を図っていきます。
「あびこエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	未達成	認証品数は増加傾向にあるが、取組農業者は昨年より微減しました。今後も第2次あびこエコ農業推進基本計画に沿って、取組農業者の増加のためにPRしていきます。
農産物直売所年間売上	達成	コロナ禍以後の内食・中食需要の増加に伴い、令和元年度の実績と比較して大きく売上を伸ばしています。物価高の影響も受けているため、来客数やコストなどほかの数字もみながら、更なる売上増加を図っていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	<p>農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構などと連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新等を行い農業生産基盤の維持強化に取り組みました。</p> <p>農業の持続的な発展については、地元産農産物の付加価値の向上や地産地消の推進を図るため、生産者と協力しながら、農業拠点施設を軸とした新たな加工品の開発や市内外のイベントでのPRを実施しました。</p>
施策を主管する部長の評価コメント	
<p>農業の生産性の維持・向上を図るため、農用地の利用集積や農業用施設の適切な維持管理及び整備、更新等を行い、農業の生産性向上に取り組みました。</p> <p>持続的な発展については、農業拠点施設や生産者と連携し、地産地消の推進及び地元産農産物の付加価値向上のため、加工品の新開発やPRイベント等を実施しました。</p>	

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 4-5 交流・関係人口の拡大

主管課 : 環境経済部 商業観光課

関係課 : 企画政策課、手賀沼課、農政課、公園緑地課、文化・スポーツ課

1. 目的

手賀沼をはじめとする地域資源を活用し、多くの人々に親しまれる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

交流・関係人口の拡大を図るため、市内外の人に、本市に魅力を感じ愛着を持ってもらえるよう、市民活動団体や事業者などと連携して、手賀沼周辺環境をはじめ、自然、鳥、文化、芸術など近隣地域にはない我孫子ならではの地域資源の活用と磨き上げを行います。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
観光イベント来場者数	人	目標値		232,250	232,500	232,750	233,500
		実績値	232,000(R1)	32,000			
観光関連施設来場者数	人	目標値		510,066	512,753	515,440	523,500
		実績値	507,379(R1)	527,195			
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎカップ参加者数	人	目標値		209	217	226	250
		実績値	201(R2)	243			
ふれあいキャンプ場利用者数	人	目標値		8,942	9,153	9,365	10,000
		実績値	8,730(H30)	5,682			
観光意欲度(地域ブランド調査順位)	位	目標値		736	709	682	600
		実績値	764(R3)	837			
観光意欲度(地域ブランド調査点数)	点	目標値		15.8	16.2	16.5	17.5
		実績値	15.5(R3)	14.7			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
観光イベント来場者数	未達成	新型コロナの影響により、市内のイベントの多くが中止となり、それらを目的とした来場者数は、当初の見込みよりも低い数字となりました。一方で、コロナ禍でも感染対策を講じることによって開催することができたJBFやあびこカップまつりは、まちに賑わいを取り戻す第一歩として、大きく貢献できたものと考えます。新型コロナが落ち着きを見せ、今後は手賀沼花火大会をはじめとした各イベントも復活してくるため、来場者数も徐々にコロナ禍以前の水準に戻っていくことが予測されます。(内訳：JBF25,000、カップまつり7,000)
観光関連施設来場者数	達成	昨年は閉館していた杉村楚人冠記念館等の施設が、新型コロナ対策を講じながら開館したことによって、全体の来場客数が増加しました。今後は新型コロナがより落ち着きを見せ、施設に足を運ぶ来場客が増えてくるのではないかと予想されます。(内訳：親水広場487,443、鳥博28,034、白樺3,572、楚人冠2,281、村川3,429、井上2,436)
市外からの手賀沼チームラン・キッズランうなぎちカップ参加者数	達成	周辺のマラソン大会が軒並み参加者減となる中、総参加者数においても前回並みとなりました。市外からの参加者については、微増となっておりますが、イベントが定着化してきたことや市外商業施設等でのPRが要因と考えられます。会場の大きさの関係上、大幅に参加人数を増やすことは難しいですが、新種目の考案等を検討していきます。
ふれあいキャンプ場利用者数	未達成	新型コロナの影響により、利用定員を制限していたことから目標値には届きませんでした。利便性向上や、SNS等を活用した周知を強化することで、利用者数の増加を目指します。
観光意欲度（地域ブランド調査順位）	未達成	これは、（株）ブランド総合研究所が調査しているデータであり、もうひとつの指標である「観光意欲度（地域ブランド調査点数）」の点数の減少により相対順位が下降したものと推測されます。このデータは、ひとつの参考となればと考えていますが、実施した取り組みの効果が必ずしも現れる性質のものではないと捉えています。当該基本施策の効果そのものを測るには、本来的には本市を訪れた人の満足度、実際の観光消費額などが重要であり、今後把握する方法を探りたいと考えています。
観光意欲度（地域ブランド調査点数）	未達成	コロナ禍において次のようなことが要因となって下降したことが推測されますが、多数の要素が複雑に影響しているであろうことから単純には判断ができないものと考えられます。今後も、ひとつの指標として動向を把握していきます。 1 観光に行きたいと考える人が増減した可能性 2 旅行先を選択する心理が影響を受けた可能性 3 旅行の経験が減少したことによって旅行に求める内容が変化した可能性

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調とはいえない	施策の指標として掲げた6つの指標のうち4つが未達成であり、順調とは言えないものと判断しました。ただし、未達成であった指標のうち2つは、イベント来場者数や施設の4利用者数で、コロナ禍において中止や制限を行ったものであり、未達成となった理由はやむを得なかったものと考えます。今後は、イベントなども元のように積極的に取り組んでいきたいと考えています。

施策を主管する部長の評価コメント	
指標が未達成となったことは、非常に残念な結果ではありましたが、コロナ禍においては中止や縮小、利用の制限などもやむを得ないものであったと考えています。アフターコロナとの中で、再び多くの方々に訪れてもらえたり参加したりしてもらえよう、地域資源の活用の取り組みを進めることが必要だと考えています。	

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-1 適正な土地利用の推進

主管課 : 都市部 都市計画課

関係課 : 建築住宅課、市街地整備課

1. 目的

良好な自然環境を保全しつつ、継続的にまちが発展できる土地利用を進めます。

2. 展開内容

現在のコンパクトな都市構造を維持しながら、さらなるまちの利便性と活力の向上につなげるため、関係法令に基づき、適正な規制・誘導を進めます。

また、市独自の良好な自然環境を保全しつつ、新たな市の発展を担う都市的土地利用を適地において検討します。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
指標の設定なし		目標値					
		実績値					

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
指標の設定なし		

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	施策に関連する事務事業は、本年度スタートの改定版都市計画マスタープランに位置づけしており、各々まちづくりに取り組んでいます。市民や事業者、また、国や県との調整など現時点において順調に推進できており、今後につながるものとなっています。都市計画決定やまちづくりの推進には地権者や事業者の協力、国や県が決定権者である場合の協議・調整が課題となります。

施策を主管する部長の評価コメント
まちの利便性向上や継続的な発展のための土地利用の適正な誘導等には、地権者の意向や関係機関の方針との整合が不可欠となります。今後も、円滑に調整や交渉が進められるよう説明の工夫やスケジュール管理が必要となります。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-2 住環境の保全とまちなみの魅力向上

主管課 : 都市部 建築住宅課

関係課 : 都市計画課

1. 目的

誰もが暮らしやすい良好な住環境と魅力的なまちなみの保全・形成を進めます。

2. 展開内容

手賀沼をはじめとする豊かな自然と歴史・文化、まちなみが調和した魅力ある景観づくりを進めていきます。

また、誰もが暮らしやすい良好な住環境の保全・形成を推進するため、空き家対策や住まいに関する情報提供などの充実を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
市営住宅の入居率	%	目標値		93.2	94.5	95.9	100
		実績値	91.8(R2)	89.2			
空き家バンク累計登録件数	件	目標値		10	15	21	38
		実績値	4(R2)	10			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市営住宅の入居率	未達成	令和4年度より周知活動の強化及び募集回数を2回に増やしたことにより、前年度に比べて募集戸数及び応募者数は増加していますが、特定の市営団地に応募が集中したことから、新規入居者の増加につながらなかったためと考えています。
空き家バンク累計登録件数	達成	制度発足から5年が経過したことと、課税通知に周知文書を同封するなどの地道な周知活動により、制度が浸透してきたためと考えています。空き家の利活用の動きが活発化することを期待し、引き続き周知活動に力を入れていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の適切な管理運営に努めるとともに、入居率の向上に向けた情報提供を継続して実施していきます。 空き家バンクの積極的な活用をさらに促すとともに、住まいに係る各種支援、情報提供なども継続して実施していきます。

施策を主管する部長の評価コメント
引き続き事業を適切に実施し、良好な住環境の保全に努めます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-3 公共交通の利便性向上

主管課 : 建設部 道路課

関係課 : 企画政策課

1. 目的

誰もが安全かつ便利に移動できる交通環境を充実します。

2. 展開内容

誰もが安全に安心して快適に地域で暮らせるよう、鉄道やバス、タクシーなどの利便性向上とバリアフリー化を進めていきます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度 当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
JR成田線の1日の往復本数	本	目標値		42	42	42	42
		実績値	40(R2)	40			
JR常磐線駅ホームドアの累計設置数	基	目標値		0	2	5	5
		実績値	0(R2)	0			
あびバスの延べ利用者数	人	目標値		207,869	210,295	212,721	220,000
		実績値	205,443(R1)	178,279			
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	人	目標値		16,841	17,073	17,305	18,000
		実績値	16,609(R2)	15,296			
東海道線との相互乗り入れ往復本数	本	目標値		1	1	1	1
		実績値	0(R2)	0			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
J R 成田線の1日の往復本数	未達成	R9までに1往復(2便)増やす目標であるが、新型コロナウイルスの影響もあり、電車で乗車する人数が減少していることから、電車の増便は実現しませんでした。引き続き増便について要望を続けていきます。
J R 常磐線駅ホームドアの累計設置数	達成	令和4年度にJR東日本と協定書を締結し、令和5年度の天王台駅緩行線の2基設置に向けて事業は順調に推移しています。今後もJR東日本と密に連携し、年度内の完成に向けて支援していきます。
あびバスの延べ利用者数	未達成	コロナ禍による利用者の減少からは徐々に回復傾向にあるが、コロナ前の水準には回復していません。今後、新規ルートの検討等を行い、利用者の回復を図っていきます。
市内バス停から乗車した印西市のふれあいバス延べ利用者数	未達成	コロナ禍による利用者の減少からは徐々に回復傾向にあるが、コロナ前の水準には回復していない。印西市と協力しながら、利用促進を図っていきます。
東海道線との相互乗り入れ往復本数	未達成	R9までに実現させることを目標としており、JR東日本へ直通運転を要望しているところではありますが、実現には至っていません。引き続き要望を続けていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	<p>バリアフリー化については、我孫子駅構内エレベーター4基中2基が使用開始となり、残りの2基も次年度早々には使用開始となる見込みです。</p> <p>また、利便性の向上について、新型コロナウイルスの5類移行を受けたことにより、シャトルバスの実証運行に向けた協議も最終段階となっています。</p>

施策を主管する部長の評価コメント
<p>今後の駅バリアフリー化は、我孫子駅・天王台駅緩行線へのホームドア設置を予定していますが、快速線への早期設置に向けてJRへ要望していきます。</p> <p>また、利便性の向上は、特に我孫子市東部地区の定住化促進に繋がる施策の実施を早期実現に向けて進めていきます。</p>

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-4 安全で快適な道路の整備

主管課 : 建設部 道路課

関係課 : 都市計画課

1. 目的

誰もが安全で円滑に移動できる道路環境の整備を進めます。

2. 展開内容

さまざまな社会基盤を支える幹線道路などの整備により、誰もが円滑で快適な移動ができる道路ネットワークの充実を図ります。

また、市民生活の安全・安心を支える生活道路や通学路などの適正な維持管理と整備に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度 当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
都市計画道路の整備率	%	目標値		59.4	59.6	59.9	60.6
		実績値	59.2(R2)	59.4			
道路瑕疵による賠償件数	件	目標値		4	3	2	0
		実績値	5(R2)	2			
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	箇所	目標値		7	8	8	10
		実績値	6(R3)	6			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
都市計画道路の整備率	達成	平成10年に事業認可を取得し、整備を進めていた都市計画道路3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の未開通区間125mについて、令和2年度より道路整備工事に着手し、令和4年4月25日に供用を開始しました。今後は、平成30年に事業認可を取得した都市計画道路3・4・9号下ヶ戸・中里線外1線の整備を、引き続き進めていきます。
道路瑕疵による賠償件数	達成	事故発生から相手方との過失割合の交渉もあり、時間を要する場合がありますが、速やかに完了できるように事務を進めていきます。また、令和4年度以前に発生した道路瑕疵案件について、継続して示談に向けた事務手続を進めており、相手方への賠償の完了に向けて引き続き進めていきます。
駅前広場等における道路アダプトプログラムの実施箇所数	未達成	ボランティア団体へ参加団体としての登録を促し、新規登録を増やすための勧誘を引き続き進めていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	<p>手賀沼公園・久寺家線が開通し、車両や歩行者の円滑で快適な移動を確保することが出来ました。</p> <p>また、土谷津地区の道路整備についても、拡幅用地の交渉及び取得を進めることが出来、次年度の拡幅工事实施の目途が立ちました。</p> <p>半面、下ヶ戸・中里線や下新木踏切など、協議の遅れや交渉の難航により遅延が生じている路線については、早期の事業完了に向けて、引き続き協議・交渉を継続していきます。</p>
施策を主管する部長の評価コメント	
<p>幹線道路の整備では、手賀沼公園・久寺家線の開通により、交通の安全性・快適性が向上しました。引き続き、下ヶ戸・中里線の整備を進めていきます。</p> <p>通学路の整備では、布佐小学校入口交差点や並木小学校通学路、下新木踏切の整備について、児童・生徒の早期安全確保に向けて、事業を進めていきます。</p>	

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-5 利用したくなる公園の整備

主管課 : 都市部 公園緑地課

関係課 :

1. 目的

誰もが使いやすく、過ごしやすい公園づくりを進めます。

2. 展開内容

市民ニーズを的確にとらえながら、子どもから高齢者まで、誰もが利用したくなる公園づくりを進めるとともに、安全に安心して利用できるよう維持管理に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
公園・緑地の面積	ha	目標値		150	150	150	150
		実績値	150(R2)	150			
市民手づくり公園の活動団体数	団体	目標値		11	13	14	18
		実績値	10(R2)	10			
市民手づくり公園の数	園	目標値		13	15	16	20
		実績値	12(R2)	12			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
公園・緑地の面積	達成	開発行為による公園の増加により、公園面積がR3実績150.68haからR4実績150.74haとなり、目標を達成することが出来ました。
市民手づくり公園の活動団体数	未達成	新たに団体登録を行ったものが1団体、高齢化等により解散した団体が1団体があり、結果、団体数の増減はありませんでしたが、今後も引き続き団体参加のため広くPRを行い事業の推進を図ります。
市民手づくり公園の数	未達成	新たに団体登録を行い、活動を開始した公園が1公園、高齢化等により解散し、活動を終了した公園が1公園あり、公園数の増減はありませんでしたが、今後も引き続き団体参加のため広くPRを行い事業の推進を図ります。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	施策について概ね目標を達成した。今後も市民ニーズを把握しながら、誰もが安心・安全に利用できる公園の整備及び維持管理に努め、市民と協働しながら特色のある公園づくりを進めていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
施策について概ね目標を達成した。今後も適正な計画及び管理運用に努め、魅力があり交流人口の拡大につながる公園づくりを進めていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-6 下水道の整備と普及

主管課 : 建設部 下水道課

関係課 :

1. 目的

衛生的で快適な生活環境を確保するため、下水道施設の計画的な整備と維持管理を進めます。

2. 展開内容

衛生的で快適な生活環境を確保し、災害に強い下水道とするため、下水道施設の計画的な整備と維持管理に努めるとともに、耐震化を進めます。

また、将来にわたって安定した下水道事業としていくため、健全経営に努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度 当初現況値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
下水道の整備率	%	目標値		57.5	57.9	58.4	59.6
		実績値	57.1(R2)	57.6			
下水道の普及率	%	目標値		85.1	85.5	86	87.4
		実績値	84.6(R2)	84.9			
重要な管渠の地震対策実施率	%	目標値		43.8	49.6	55.4	72.8
		実績値	38(R2)	47.8			
水洗化率	%	目標値		99.03	99.04	99.045	99.07
		実績値	99.02(R2)	99.16			
経常収支比率	%	目標値		112.0	113.0	114.0	117.0
		実績値	111.0(R2)	113.1			
下水道使用料の徴収率	%	目標値		99.50	99.51	99.52	99.55
		実績値	99.49(R2)	99.6			
受益者負担金の徴収率	%	目標値		99.03	99.04	99.06	99.10
		実績値	99.01(R2)	95.52			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
下水道の整備率	達成	国の交付金などを活用して公共下水道整備を進め、R4年度については目標を達成することができました。 引き続き、計画通り事業を進め、未普及解消に取り組んでいきます。
下水道の普及率	未達成	公共下水道整備事業を概ね計画通り進めることはできているものの、従前に比べて人口密度が相対的に低い地域の整備に移行して来ていることや、人口増減の具合による影響もあり、R4年度実績では目標値をわずかに下回る結果となりました。 引き続き、計画通り事業を進め、未普及解消に取り組んでいきます。
重要な管渠の地震対策実施率	達成	工事に支障となる占用物件等が無く、マンホール浮上防止工事を計画通り進め、R4年度は目標を達成することができました。 引き続き、重要な管渠の耐震性能を確保するため、地震対策工事を進めていきます。
水洗化率	達成	新規整備エリアにおける下水道接続を促すチラシの配布や戸別訪問による説明を行うとともに、広報やHPを通じた下水道接続の啓発などにより、R4年度は目標を達成することができました。 市の水洗化率は既にかかなり高い水準にあります。今後もこの水準の維持・向上に努めていきます。
経常収支比率	達成	予定費用及びその財源を適切に予算計上・予算執行した結果、経常利益を確保しR4年度は目標を達成することができました。 引き続き、適正な予算計上・予算執行に努めていきます。
下水道使用料の徴収率	達成	下水道使用料は水道料金と共に徴収しており、水道使用者からは高い徴収率となっているため、R4年度は目標を達成することができました。しかし、井戸利用者からの徴収が滞りになりやすい状況にあるため、納期限までに納めず滞りとなっている下水道使用者に対して、引き続き督促・催告を地道に行っています。市の下水道使用料徴収率は既にかかなり高い水準にあります。今後もこの水準の維持・向上に努めていきます。
受益者負担金の徴収率	未達成	新規の受益者には丁寧に説明を行ってきたが、一部の複数の受益者からの負担金納入が滞り、R4年度は目標を達成することができませんでした。今後は滞りとなっている受益者に対し、引き続き催告を行い早期回収に努めていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	<p>下水道事業の経営は、人口減少が進む中、下水道整備や既存施設の老朽化に伴う改築更新など継続して投資を行う必要があり、厳しい経営環境となることが懸念されています。</p> <p>このため、令和3年度に見直した経営戦略に基づき、計画的かつ合理的な経営に取り組み、定期的な検証・評価を次の見直しに繋げることで持続可能な下水道サービスの実現に努めます。</p> <p>水洗化率、経常収支比率、下水道使用料の徴収率については令和4年度の目標値を達成したものの、受益者負担金の徴収率は目標を下回る結果となったため、引き続き、滞り対策に注力し、財源の確保に努めていきます。</p> <p>下水道の整備率と普及率は、引き続き緩やかな伸びとなりますが、今後も計画的に下水道整備を進めていきます。</p> <p>重要な管渠の地震対策については、計画通りに進んでおり、今後も「下水道総合地震対策計画」に基づき、地震対策工事を進めていきます。</p>

施策を主管する部長の評価コメント
<p>下水道事業をめぐる経営環境が厳しさを増している中で、引き続き安定的に事業を行うためには、経営状況を的確に把握したうえで経営戦略に基づき、中長期的な視野から計画的な経営に取り組み、徹底した効率化、健全化を行うことが必要です。</p> <p>水洗化率や徴収率については、引き続き改善に向けた努力を継続し、経営基盤の強化に努めます。</p> <p>厳しい経営環境のなか、下水道整備率・普及率の大幅な向上は難しい状況にありますが、限られた財源を有効活用し、着実に未普及地区の整備を進めていきます。</p> <p>既設下水道施設については、ストックマネジメント計画に基づき、長期的な視点で計画的かつ効率的に修繕・改築を実施していきます。</p> <p>地震対策では、既存施設の耐震化と避難所へのマンホールトイレ設置を進め、災害に強い都市基盤の整備を推進します。</p>

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 5-7 安全な水道水の安定供給

主管課 : 水道局 経営課

関係課 : 健康づくり支援課

1. 目的

水道の基盤を強化し、将来にわたり安全な水道水を供給します。

2. 展開内容

業務の効率化を図り、将来にわたって安定した水道事業運営に努めます。

また、安全で安心な水道水を供給するとともに、老朽化した浄水場設備の更新と管路の耐震化を計画的に進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
経常収支比率	%	目標値		112.0	113.0	114.0	117.0
		実績値	111.0(R2)	113.1			
料金回収率	%	目標値		106.0	106.0	106.0	106.0
		実績値	106.6(R2)	100.1			
有効率	%	目標値		95.0	95.0	95.0	95.0
		実績値	95.0(R2)	93.3			
管路耐震適合化率	%	目標値		45.2	46.3	47.5	51.0
		実績値	44.0(R2)	45.6			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
経常収支比率	達成	目標値は下回ったものの、100%を超え経常費用が経常収益を上回っていることから、収益性は高いものとなっています。今後も引き続き高い収益性を維持できるよう給水収益を始めとした経常収益の向上と、経常費用の削減に努めます。
料金回収率	未達成	目標値は下回ったものの、100%を超えていることから、給水費用が給水収益で賄われています。今後も引き続き、社会情勢の変化を注視し、給水収益の適正額について定期的な検証と見直しを行っていきます。
有効率	未達成	水道施設及び給水装置を通して給水される水量が、概ね有効使用されているが、目標値を下回っていることから、今後は有効率の向上に向けた取組の検討が必要と考えます。
管路耐震適合化率	達成	水道事業基本計画に基づき更新を行いました。今後も計画に従い更新を行っていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	コロナ禍の影響を受けながらも水道事業基本計画や我孫子市水道事業ビジョンに沿った水道事業運営を行うことができました。 今後は、社会情勢の変化に伴う業務の多様化や大規模災害への対応を考慮すると組織体制の強化が必要です。

施策を主管する部長の評価コメント
コロナ禍の制限はあったが、水道事業基本計画や我孫子市水道事業ビジョンに沿った事業を推進できているが、次世代の職員育成や大規模災害の備えが必要であり、今後は経営基盤の強化と組織体制の強化を図る必要があると考えます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 6-1 地球環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : クリーンセンター

1. 目的

環境への負荷を減らし、地球環境にやさしいまちづくりを進めます。

2. 展開内容

地球環境への負荷を減らすため、カーボンニュートラルの実現に向けた取組など、市民・事業者・行政が一体となって進めていきます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
市の事務事業を通して排出されるCO2の量	t-CO2	目標値		26,955(R3)	26,182 (R4)	25,408(R5)	23,862(R7)
		実績値	27,728(R2)	26,512(R3)			
1人1日当たりの総ごみ(可燃・不燃・資源)排出量	g	目標値		808	806	804	799
		実績値	842 (R2)	801.4			
最終処分量	t	目標値		3,000	2,928	2,856	2,639
		実績値	3,377 (R2)	2,663			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市の事務事業を通して排出されるCO2の量	達成	引き続き、市の事務事業を通して排出されるCO2の排出削減に向け取り組みます。
1人1日当たりの総ごみ（可燃・不燃・資源）排出量	達成	引き続き、ごみ排出量削減に向けた啓発を行います。
最終処分量	達成	引き続き、ごみ排出量削減に向けた啓発を行うとともに、可能な限り焼却灰の資源化に努めます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	令和4年度は目標値を上回り、目標を達成できましたが、新型コロナがどの程度影響しているか不明なため、今後も市の事務事業にかかる温室効果ガス排出量の削減に努めていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
環境への負荷を減らし、地球環境にやさしいまちづくりを進めるため、行政が主体となり温室効果ガス排出量の削減に努めます。同時に、市民や事業者への周知・啓発に努めていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 6-2 自然環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : クリーンセンター、治水課、公園緑地課

1. 目的

水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てます。

2. 展開内容

市民や関係機関などと連携しながら、水と緑に囲まれた豊かな自然環境や身近な自然を大切に守り育てるとともに、人と自然にやさしい環境づくりを進めていきます。

手賀沼の水環境を保全していくため、市民・事業者・行政が連携し、広域的な取組を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
手賀沼のCOD年平均値	mg/L	目標値		7.7	7.7	7.7	7.7 (R7)
		実績値	10.0 (R2)	10.1			
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	種	目標値		18以下	18以下	18以下	18以下
		実績値	18(R2)	18			
緑の確保量	ha	目標値		1,573	1,579	1,584	1,600
		実績値	1,566(R2)	1,562			
手賀沼清掃参加団体	団体	目標値		19	19	19	19
		実績値	19 (R1)	19			
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	回	目標値		7	7	7	7
		実績値	7 (R2)	7			
みどりのボランティア登録者数	人	目標値		432	455	479	550
		実績値	408(R2)	458			
古利根沼水辺清掃参加者数	人	目標値		20	22	24	30
		実績値	18(R2)	15			
利根川河川清掃参加者数	人	目標値		113	114	116	120
		実績値	111(H30)	82			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
手賀沼のCOD年平均値	未達成	生活排水による影響は下水道の普及等により年々減少しているが、面源系による影響は効果的な対策をとることが難しいため減少しにくい状況です。 手賀沼の汚濁負荷の軽減を図るための浄化事業、流域住民への啓発活動を実施していきます。
市内で生育・生息している特定外来種の確認数	達成	市民の目撃情報等に対し、速やかに対応し、生態系の環境保全に取り組んでいきます。
緑の確保量	未達成	令和3年度末の緑の確保量は1565haであり、令和4年度は、開発行為による公園の増加により、公園面積が増加(0.06ha)したが、指定から30年を経過した多くの生産緑地の地権者から買取申出が提出され、生産緑地(2.04ha)の行為制限が解除されたこと、大規模な保存緑地(1.20ha)の指定解除があったことなどから、緑の確保量が3.39ha減少しました。今後は、保存緑地等の新規指定による緑の確保量の増加について検討していきます。
手賀沼清掃参加団体	達成	水質浄化に加え、その周辺の環境美化を進めることで市民が誇れる沼として意識向上を図るため、今後も引き続き、クリーン手賀沼推進協議会構成団体による手賀沼清掃事業を通じて啓発活動に取り組んでいきます。
環境レンジャーの市民参加型環境啓発活動の企画数	達成	引き続き、自然観察会等を通して、自然環境保全の啓発活動に取り組んでいきます。(例年7回開催)
みどりのボランティア登録者数	達成	令和3年度末のみどりのボランティア登録者数は435人であり、令和4年度は、花壇活動を行う団体が新たに2団体(24名)登録され、1名が登録解除となったことにより、23名の増加となったため、目標を達成することができました。
古利根沼水辺清掃参加者数	未達成	令和3年度の古利根水辺清掃は、新型コロナの影響により中止となっています。令和4年度は開催できましたが、影響が残り、参加人数が令和2年度と比べて3名減少しました。新型コロナの5類感染症移行に伴い、市民活動への参加が増加することが予測されるため、今後も引き続きPRを行い、市民参加の推進を図ります。
利根川河川清掃参加者数	未達成	コロナ禍以降、大人数でのイベントなどが困難になっています。行動制限がなくなり、これから参加者数が増えることが見込まれますが、現在行っている広報あびこ、自治会への呼びかけ以外について検討していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	手賀沼のCOD値は、依然高い数値が続いています。また水質とともにナガエツルノゲイトウなどの特定外来種の繁茂は、生態系にも深刻な影響を及ぼすことから早急な対応が必要です。引き続き事業者や行政、市民で広域的な取組を推進し環境保全活動を推進していきます。

施策を主管する部長の評価コメント
市域全体の豊かな自然環境の保全という観点からも重要な施策であり、手賀沼の浄化・再生を効果的に進めるためにも引き続き関係機関との連携により着実に進める必要があります。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 6-3 生活環境の保全

主管課 : 環境経済部 手賀沼課

関係課 : 商業観光課、クリーンセンター

1. 目的

快適で衛生的な生活ができるよう、良好な生活環境の保全に努めます。

2. 展開内容

清潔で快適な環境を維持するため、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動により、市民の良好な生活環境の保全に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
地下水水質環境調査における環境基準達成率	%	目標値		83.3	86.7	90.0	100
		実績値	80.0(R2)	70			
市内の騒音環境基準達成率	%	目標値		81.5	85.2	88.9	100
		実績値	77.8(R2)	83.3			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
地下水水質環境調査における環境基準達成率	未達成	植物用の肥料等に含まれる硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準が超過している井戸が複数あったため、達成には至りませんでした。引き続き、市内の地下水汚染状況の把握に努め、基準超過している井戸については必要に応じて監視を行います。
市内の騒音環境基準達成率	達成	達成となったが、交通量の多い国道6号線沿いの調査地点において、環境基準が超過している箇所がありました。引き続き、市内の騒音状況を把握し、基準を達成できるよう指導等を行っていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	施策の評価はほぼ順調となったが、市内の騒音環境基準及び地下水水質環境調査における環境基準ともに基準を超過している箇所があるため、継続して監視を行っていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
快適で衛生的な生活ができるよう、生活環境に影響を及ぼす公害の防止や不法投棄の監視・指導、啓発活動を引き続き実施し、市民の良好な生活環境の保全に努めていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 7-1 生涯学習の推進

主管課 : 生涯学習部 生涯学習課

関係課 : 鳥の博物館、図書館

1. 目的

市民が、地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができるよう、市民一人ひとりの学ぶ意欲に応じて、さまざまな機会を提供するとともに、成果を地域に活かせる環境づくりに努めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
図書館の年間貸出冊数	冊	目標値		985,773	988,619	991,464	1,000,000
		実績値	982,928(R1)	924,715			
図書館利用の登録率	%	目標値		35.6	35.9	36.3	37.3
		実績値	35.3(R2)	27.0			
我孫子地区公民館の年間利用率	%	目標値		61.0	61.5	62.0	63.5
		実績値	60.5 (R1)	56.8			
湖北地区公民館の年間利用率	%	目標値		45.5	46.0	46.5	48.0
		実績値	45.0 (R1)	42.4			
公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	人	目標値		9,672	9,717	9,763	9,900
		実績値	9,626 (R1)	6,916			
鳥の博物館年間来館者数	人	目標値		33,020	33,416	33,812	35,000
		実績値	32,624(R1)	27,405			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
図書館の年間貸出冊数	未達成	新型コロナの影響により年間貸出冊数においても数値が落ち込み、令和2年度には690,552冊まで減少しましたが、徐々に回復傾向にあり、令和4年度の実績値は目標値の93.8%まで近づきました。今後も引き続き収集方針を基本としたうえで、市民のニーズに合わせた資料の購入やホームページ等における利用促進のPRを積極的に行い、年間貸出冊数を増やしていきます。
図書館利用の登録率	未達成	図書館利用の登録率は近年30%台を維持していましたが、令和4年1月の電算システム更新時にあわせ、一定期間未利用であった利用者登録を一斉に削除したため登録率が下がりました。令和4年度は微増しています。特に利用登録の少ない中・高校生に対しては、令和4年度に中学校へ出向き、利用案内と登録の説明を行うなどの登録促進に向けた事業を実施しました。今後もPRに努め利用につなげていきます。
我孫子地区公民館の年間利用率	未達成	前年の利用率は54.3%であり、令和4年度については56.8%となりました。新型コロナ対策により、公民館活動の自粛や利用制限等の影響があったものの、施設利用者数は増加し、利用率の回復が見られました。今後はコロナ前と同等の利用率に徐々に回復していく見通しです。
湖北地区公民館の年間利用率	未達成	前年の利用率は38.6%であり、令和4年度については42.4%となりました。新型コロナ対策により、公民館活動の自粛や利用制限等の影響があったものの、施設利用者数は増加し、利用率の回復が見られました。今後はコロナ前と同等の利用率に徐々に回復していく見通しです。
公民館学級・講座、出前講座の延べ受講者数	未達成	前年の受講者数は5,454人であり、令和4年度については6,916人となりました。新型コロナウイルス感染症対策により、公民館活動の自粛や利用制限等の影響があったものの受講者数の回復が見られました。
鳥の博物館年間来館者数	未達成	感染症による制限が徐々に緩和され、イベントも現地開催となったことから来館者数も回復の傾向にあるが目標値には届きませんでした。今後、団体、学校の校外学習の受入他、館内イベントを従来どおり実施できれば、さらなる回復が見込めると考えます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	公民館利用者や公民館学級参加人数は、新型コロナの影響で目標値には達していませんが、徐々に回復していく見通しです。

施策を主管する部長の評価コメント
今後も、生涯学習推進計画に基づき、市の生涯学習施策を総合的、体系的に推進します。市民への学習情報提供や学習機会の充実、人材の育成や団体の支援等を通じ、生涯学習によるまちづくりを推進します。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 7-2 歴史文化財の保存・継承と文化の振興

主管課 : 生涯学習部 文化・スポーツ課

関係課 : 生涯学習課

1. 目的

歴史文化財を次世代に継承していくとともに、文化・芸術の振興を図ります。

2. 展開内容

歴史資料の収集・保存に努めるとともに、市内の文化財などの一体的な活用を図ります。

誰もが文化・芸術に親しむ機会の充実を図るとともに、これまで大切に育まれてきた伝統文化を後世に受け継ぐことができるよう、保存と継承に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
文化芸術団体が開催したイベント (後援等)の入場者数	人	目標値		46,614	47,091	47,567	49,000
		実績値	46,137(R1)	33,466			
市民文化祭の来場者数	人	目標値		14,462	15,169	15,877	18,000
		実績値	13,754(R1)	6,350			
めるへん文庫の応募者数	人	目標値		138	150	163	200
		実績値	125(R2)	130			
郷土芸能祭の入場者数	人	目標値		256	265	274	300
		実績値	247(R1)	179			
文化財施設等の年間見学者数	人	目標値		16,824	17,159	17,495	18,500
		実績値	16,489(H30)	12,571			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
文化芸術団体が開催したイベント（後援等）の入場者数	未達成	新型コロナウイルス拡大の影響で目標数に達することはできませんでした。
市民文化祭の来場者数	未達成	新型コロナ拡大の影響で目標数に達することはできませんでした。今後は、イベントの周知方法等を検討し、来場者数の増加を目指します。
めるへん文庫の応募者数	未達成	めるへん文庫の応募者数は目標数に達することはできませんでした。今後は、募集告知の方法等検討し、応募者数の増加を目指します。
郷土芸能祭の入場者数	未達成	新型コロナ拡大の影響で目標数に達することはできませんでした。今後は、イベントの周知方法等を検討し、来場者数の増加を目指します。
文化財施設等の年間見学者数	未達成	新型コロナ拡大の影響で見学者数は目標数に達することはできなかったが、これまで開催できなかったイベントの再開や、新規イベントを行ったことで、イベントの開催回数が増加していることから、前年度実績（11,510人）よりは来館者数は増加している施設が多い。今後は施設・イベントの周知を図り、見学者数の増加を目指したい。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	文化財施設等の年間見学者数、文化イベントの来場者数ともに新型コロナの影響から未達成となりましたが、ホームページや動画配信等の活用など、新たな視点での情報発信、イベント開催に取り組みました。また、めるへん文庫の応募者数もわずかに未達成となりましたが、これを受けて民間事業者の活用の検討を進め、5年度には事業化へとつなげることができました。

施策を主管する部長の評価コメント
新型コロナの影響により、一部未達成の事業もありましたが、オンラインやSNSの活用等工夫をして、市民への啓発や情報発信を行いました。今後も、市の第4次総合計画に基づき、生涯学習推進計画や文化財保存活用計画に沿って、施策を総合的、体系的に推進します。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 7-3 スポーツの振興

主管課 : 生涯学習部 文化・スポーツ課

関係課 :

1. 目的

子どもから大人まで誰もが生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりを進めます。

2. 展開内容

誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境をつくるとともに、競技力向上への支援や指導者の育成、スポーツ施設の適正な維持管理と運営に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
市民体育館の延べ利用者数	人	目標値		167,671	172,337	177,003	191,000
		実績値	163,005(R1)	151,377			
体育施設の延べ利用者数	人	目標値		79,150	83,320	87,490	100,000
		実績値	74,980(H30)	84,893			
市民体育大会の参加者数	人	目標値		3,270	3,616	3,962	5,000
		実績値	2,924(R1)	4,429			
チャレンジスポーツフェスタの参加者数	人	目標値		372	397	423	500
		実績値	346(R1)	377			
新春マラソンの参加者数	人	目標値		1,642	1,713	1,785	2,000
		実績値	1,570(R1)	1,105			
地域スポーツフェスタの参加者数	人	目標値		352	381	411	500
		実績値	322(R1)	220			
ファミリースポーツテストの参加者数	人	目標値		218	234	251	300
		実績値	201(R3)	99			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市民体育館の延べ利用者数	未達成	国等のガイドラインを遵守し、トレーニングルームの最大利用人数を制限したことなどにより目標値には届かなかったが、前年度実績（146,062人）よりは大幅に増加した。今後、施設を活用したイベントの開催やSNS等を利用した周知の強化により、利用者数の増加を目指します。
体育施設の延べ利用者数	達成	新型コロナ等により活動を控えていた団体や、新たな団体の定期利用が増えたことにより、目標値を達成することができました。
市民体育大会の参加者数	達成	新型コロナの影響により中止となっていた競技が開催されたことや、一部競技において種目数を増やしたことが参加者数の増加につながったものと考えます。
チャレンジスポーツフェスタの参加者数	達成	これまで実施していた各競技の体験エリアに加え、NECグリーンロケッツ東葛によるラグビー体験会や専門講師による親子向けの走り方教室の同時開催したことが参加者数の増加につながったものと考えます。
新春マラソンの参加者数	未達成	学校単位での参加が少なくなったことで、親子ペアを除く小中学生の参加者が減少しました。SNS等を利用した周知方法を強化し、参加者数の増加を目指します。
地域スポーツフェスタの参加者数	未達成	コロナの影響で中止となり3年ぶりの開催となりましたが、例年、3会場で開催していた同イベントを1会場に集約して開催したことで、参加者数は減少しました。令和4年度からパラスポーツや親子向けの内容を取り入れところ、非常に好評だったことから今後も同様の形態で開催することを検討します。
ファミリースポーツテストの参加者数	未達成	前年に実施したNECグリーンロケッツ東葛によるラグビー体験会を実施できなかったことなどから参加者数が減少したものと考えます。SNS等を利用した周知方法を強化し、参加者数の増加を目指します。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	新型コロナの影響から、体育施設の利用人数制限から未達成の事業があったものの、イベントに参加したい市民のニーズをくみ取って目標達成する事業もありました。今後は様々な媒体を使って周知に取り組み、スポーツに親しむ環境づくりへとつなげていきます。

施策を主管する部長の評価コメント
新型コロナの影響により、感染対策を行いながら事業を実施しましたが、体育施設の利用者等が減員するなど一部未達成の事業もありました。その分、スポーツ推進計画の策定や施設の修繕など、コロナの終息後を見据えた事業を展開することができたと考えます。今後も、市の第4次総合計画に基づき、生涯学習推進計画やスポーツ推進計画に沿って、施策を総合的、体系的に推進します。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 8-1 男女共同参画の推進

主管課 : 企画総務部 秘書広報課

関係課 : 社会福祉課

1. 目的

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を充分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。
また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
審議会等の女性委員比率	%	目標値		35.0	36.0	37.0	40.0
		実績値	34.0(R2)	32.4(R3)			
市の男性職員の育児休業・部分休業 取得率	%	目標値		3.8	5.1	6.3	10.0
		実績値	2.6(R2)	23.3			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
審議会等の女性委員比率	未達成	委員が、各組織からあて職で就任している場合が多いため、各組織の中で女性が役職に就くのを待つしかない状況となっています。※実績値はR3年度の実績値
市の男性職員の育児休業・部分休業取得率	達成	対象職員及び所属長への面接を通して、育児休業・部分休業制度の説明を行い、職場で育児休業・部分休業の取得がしやすい環境整備に努めました。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	男女共同参画プランに掲げる77事業は概ね順調であることから、施策全体としても、ほぼ順調であると考えます。ただし、77事業のうち、審議会や自治会長の女性比率などは、所属する組織で役職に就く女性が増えないことには、目標達成が難しい状況にあるといえます。また、国ではLGBT理解増進法の議論が進んでいるほか、全国ではパートナーシップ制度・ファミリーシップ制度を導入する自治体が増えていることから、事例収集や制度導入の検討を進めていく必要があります。

施策を主管する部長の評価コメント
<p>本施策は、男女が共に参画する社会の形成にとって有効であり、今後も男女が平等に参画できる環境づくりを進めるため、引き続き推進していきます。</p> <p>なお、今後の施策推進においては、国でLGBT理解増進法の議論が進んでいることや、全国の自治体でパートナーシップ制度・ファミリーシップ制度の導入が広がっていることなど、社会情勢を踏まえていく必要があります。</p>

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 8-2 人権尊重社会の推進

主管課 : 健康福祉部 社会福祉課

関係課 :

1. 目的

すべての人々の基本的な人権が尊重され、かけがえのない人生をその人らしく過ごせる環境づくりを進めます。

2. 展開内容

すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	%	目標値		22.3	23.8	25.4	30.0
		実績値	20.7(R2)	45.6			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	達成	令和4年度ゲートキーパー研修受講者：市職員、市職員新規採用職員研修、市内小中学校教員、高齢者なんでも相談室及び障害者まちかど相談室スタッフ ゲートキーパー研修及びゲートキーパーに関する啓発等を行い、ゲートキーパーの役割を知っている人の割合が増加したと思われます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	すべての人が人権について理解を深めることができるよう周知啓発を行うことができました。また、自雑対策として、市職員、市内小中学校教員、高齢者なんでも相談室や障害者まちかど相談室の職員に向けた、ゲートキーパー研修及び啓発等を行い、ゲートキーパーの役割の理解啓発を図ることができました。

施策を主管する部長の評価コメント
新型コロナの影響も一部でありましたが、ゲートキーパーの役割や基本的な人権の尊重についての理解及び啓発を行うことができました。引き続き、人権が尊重され、市民がいきいきと暮らすことのできる地域づくりを進めます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 8-3 平和社会の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 : 社会福祉課

1. 目的

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていきます。

2. 展開内容

「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
リレー講座開始からの派遣中学生 OB・OGの参加延べ人数	人	目標値		93	107	121	163
		実績値	79(R2)	105			
平和事業への参加者数	人	目標値		337	363	390	470
		実績値	310(R2)	360			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
リレー講座開始からの派遣中学生OB・OGの参加延べ人数	達成	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら市内小学校全校でリレー講座を行うことができ、派遣中学生OB・OGに参加してもらう機会が増えました。引き続き、全校でのリレー講座を実施できるよう小学校と連携していきます。
平和事業への参加者数	達成	手賀沼とろうろ流しは天候不良により灯籠を流すことができなかったため中止としました。平和の集いでは、けやきプラザの新型コロナ対策による座席の制限が撤廃されたことから、新型コロナ前の定員に戻して実施しました。より多くの方に参加してもらうため、引き続きSNS等を活用し周知していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	派遣事業では予定通り全6校12名の中学生を広島へ派遣し、被爆の実相や平和の尊さを学び、平和の集いにおいて派遣を通して感じたことや学んだことを報告することができました。リレー講座では市内全小学校13校で実施することができました。被爆体験者が少なくなっている中、若い世代へ平和の尊さを受け継ぐため引き続き事業を推進していきます。

施策を主管する部長の評価コメント
派遣を経験した中学生が、積極的にリレー講座のアシスタントや講師を担い、平和の尊さを伝える輪が広がってきています。今後も引き続き、戦争の恐ろしさや、平和の尊さを伝える機会が広がっていくよう引き続き平和事業を推進していきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 8-4 国際交流・多文化共生の推進

主管課 : 企画財政部 企画政策課

関係課 :

1. 目的

国際理解を深めるとともに、国籍等の異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として生きていくための多文化共生を進めていきます。

2. 展開内容

在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
「外国人のための日本語教室」登録者数	人	目標値		64	70	76	93
		実績値	58(R2)	77			
国際交流まつりの来場者数	人	目標値		682	683	685	690
		実績値	680(R2)	323			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
「外国人のための日本語教室」登録者数	達成	新型コロナ状況を鑑み、対面授業とオンライン授業をそれぞれ実施しました。学習者のレベルに合わせて、ニーズにあった教材を取り入れ、わかりやすい授業に努めるなど工夫を施しながら授業を実施しました。今後も在留する外国人の支援となるよう本事業を進めていきます。
国際交流まつりの来場者数	未達成	新型コロナ拡大防止を鑑み、十分な感染対策を行い開催しました。我孫子市でオリンピックの事前キャンプを行ったスロベニア共和国や、前日本大使とのご縁でキプロス共和国といった国がブースを出展。併せて紹介動画の放映等も行い新たな交流が実現しました。また、3年ぶりにお茶席や着付け体験、その他日本の伝統芸能や、民族舞踏、楽器演奏等が行われ賑わいが創出されました。コロナ禍においての開催であったため、来場者数が目標値に達しませんでした。今後來場者数は、コロナ以前の状況に戻っていくと思われま。今後も国際交流の輪が拡大していくように本事業を進めていきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	あびこ国際交流まつりでは、スロベニア共和国やキプロス共和国が新たにブースを出展するなど前年以上に国際色豊かなイベントを開催することができました。引き続き、多文化共生社会の実現のため、我孫子市国際交流協会と連携していきます。

施策を主管する部長の評価コメント	
国際交流スピーチ大会や国際交流まつりを実施することにより、在住外国人と市民のあたたかな交流が生まれています。また、海外と日本の文化を互いに学びあう場にもなっていると考えます。多文化共生社会の実現を図るため、引き続き草の根の国際交流を推進していきます。	

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 市民とともにつくる協働によるまちづくりの推進

主管課 : 市民生活部 市民協働推進課

関係課 : 秘書広報課、行政管理課

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、協働によるまちづくりを進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
市民交流を目的としたイベントの参加者数	人	目標値		2,657	2,825	2,994	3,500
		実績値	2,488(R1)	1,147			
市民活動ステーションの利用件数	件	目標値		6,805	6,844	6,883	7,000
		実績値	6,766(R1)	4,549			
自治会・町内会への加入率	%	目標値		70.6	71.3	72.0	74.0
		実績値	69.9(R2)	69.0			
近隣センターの稼働率	%	目標値		46.5以上	46.5以上	46.5以上	46.5以上
		実績値	46.5(R1)	42.4			
市ホームページのアクセス数	アクセス	目標値		9,939,216	10,124,570	10,309,928	10,866,000
		実績値	9,753,855(R1)	15,872,551			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
市民交流を目的としたイベントの参加者数	未達成	新型コロナの影響により、オンラインでの実施など対面式のイベントが縮小などしたため近年参加者数が減少していますが、令和4年度は対面のイベントも増えて前年度に比べ参加者が増加しました。今後も対面式での実施となるため参加者が増加することが想定されます。
市民活動ステーションの利用件数	未達成	新型コロナの影響により利用者が減少していましたが、今後は利用者が増加することが想定されます。
自治会・町内会への加入率	未達成	自治会への関心が低くなっていることや活動への負担感などにより加入率が下がっています。転入者へのチラシ配布や、広報あびこでの特集などにより、自治会の必要性を啓発していきます。
近隣センターの稼働率	未達成	新型コロナの影響により利用者が減少していましたが、今後は利用者が増加することが想定されます。
市ホームページのアクセス数	達成	新型コロナや新型コロナワクチンに関するページのアクセスが多い傾向にありました。 感染症法上の5類への移行後は減少が予想されますが、再開されるイベントに関するアクセスなどは増えると考えられます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
ほぼ順調	新型コロナの影響により、事業を実施することが困難であったが、その中でもできるイベントや事業を市民団体と協働して実施することができました。

施策を主管する部長の評価コメント
市民とともに作る協働によるまちづくりを推進するためには、市民との絆を深める必要があります。この数年は、新型コロナの影響により思うような事業を実施できませんでしたが、今後は市民と膝を突き合わせて話し合い、まちづくりを進めていきます。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 効率的・効果的な行財政運営の推進

主管課 : 企画総務部 企画政策課

関係課 : 人事課、行政管理課、資産管理課、財政課、収税課

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

多様化する市民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、財源の確保と効率的かつ効果的な事業の実施に努め、持続可能な行財政運営を進めます。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
一人当たりの時間外勤務数	時間	目標値		112.2	109.3	106.5	97.8
		実績値	115.1(R1)	113.1			
経常収支比率	%	目標値		112.0	113.0	114.0	117.0
		実績値	111.0(R2)	113.1			
財政調整基金の年度未残高	万円	目標値		標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%	標準財政規模の10%
		実績値	234,700(R2)	326,700 (R3)			
市税（現年課税分）の収納率	%	目標値		98.76	98.81	98.86	99.00
		実績値	98.71(R2)	98.95			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
一人当たりの時間外勤務数	未達成	時間外勤務は、業務の複雑化や高度化、デジタル化への対応など業務量の増加や新型コロナの影響、休業・退職者の増加などにより、慢性的に高い水準となっています。 行政手続きのデジタル化や効率化を図り、職員一人当たりの時間外勤務時間数が少なくなるよう努めていきます。
経常収支比率	達成	R3年度実績においては普通交付税の追加交付があったことや経常的経費の削減等に努めた結果、目標としていた全国の類似団体の平均（89.6%）を下回る数値（目標達成）となりました。 R4年度以降には、新クリーンセンター整備のために借入れを行った地方債の償還が発生することから、経常的経費のさらなる削減を図るとともに、一層の財源確保を行い、目標達成に努めていきます。
財政調整基金の年度末残高	達成	R3年度実績においては前年度からの繰越金が増加したことにより、例年よりも財政調整基金への積み立てを多く行うことができ、目標としていた標準財政規模の10%（258,845万円）を上回る数値（目標達成）となりました。 令和4年以降も引き続き、目標達成に努めていきます。
市税（現年課税分）の収納率	達成	納付の啓発や滞納整理に努力し、納期内の納付を促した。今後も納税環境を整備していくとともに納税の啓発、滞納整理をさらに推進していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	第四次総合計画を効果的に推進するため、部の再編、デジタル化推進体制の強化、係制への移行などを行うとともに、組織名称について変更や統一を図り、市民にわかりやすい組織体制としました。財政状況については、指標の目標値を達成できていますが、新型コロナウイルスや物価高騰に対する国の財源措置があったことによる影響も大きいため、引き続き財政の健全化に務めます。

施策を主管する部長の評価コメント
令和4年度に策定した第5次行政改革推進プランでは、持続可能な行財政運営、デジタル化の推進、公民連携の推進、公共施設マネジメントの推進、組織力の向上の5つの視点を重点的に取り組んでいく項目として決めました。本プランの進行管理を通じて、効率的・効果的な行財政運営を推進します。

令和4年度 施策評価表

施策名称 : 戦略的なシティプロモーション

主管課 : 企画総務部 秘書広報課

関係課 :

1. 目的

基本構想の実現に向け、まちづくりの主役である市民とともに、誇りと愛着の持てるまちづくりを横断的に進めます。

2. 展開内容

市の魅力を伝える情報発信を戦略的に行うことで、市民の定住と市外の方の移住促進を図ります。

3. 施策指標

指標名	単位		令和4年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
			当初現況値				
魅力度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		567	543	520	450
		実績値	590(R3)	615			
魅力度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		6.2	6.5	6.9	8.0
		実績値	5.8(R3)	5.7			
認知度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		247	237	228	200
		実績値	256(R3)	252			
認知度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		34.4	35.0	35.7	37.5
		実績値	33.8(R3)	33.8			
情報接触度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		266	253	240	200
		実績値	279(R3)	345			
情報接触度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		21.8	22.7	23.5	26.0
		実績値	21.0(R3)	18.6			
居留意欲度（地域ブランド調査順位）	位	目標値		346	317	288	200
		実績値	375(R3)	382			
居留意欲度（地域ブランド調査点数）	点	目標値		6.0	6.1	6.3	6.7
		実績値	5.8(R3)	6.2			
あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	回	目標値		143	155	166	200
		実績値	132(R2)	556			

4. 指標の達成状況

指標名	達成状況	達成状況の要因、今後の展望等
魅力度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位付けのベースとなる点数が前年比-0.1とほぼ同じでしたが、相対順位なので25位ダウンしました。 (※当市がPRに注力したことに変わりはないが、他市町村がより一層力を入れて来たと考えられます。)
魅力度（地域ブランド調査点数）	未達成	前年度とほぼ同点。 魅力発信用リーフレット、広告やWEBページ作成といった多方面への情報発信は昨年度同様に実施した結果、1年を通して一定の効果は得られたと見受けられます。 今後は、同様の施策を継続するほか、さらなる魅力の掘り起こしとPRを目指します。
認知度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位付けのベースとなる点数は同じであったが、相対順位なので-25ダウンする結果となりました。
認知度（地域ブランド調査点数）	未達成	前年度と同点。 当市のPRは主に近隣市町村(東京及び東京への通勤圏内)を対象にしていますが、本調査の回答者は全国にわたります。PR対象に限られることから、それ以外を含めた場合は認知度が頭打ちになっていると考えられます。
情報接触度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位・得点ともに下落。 情報発信数は前年度比で増加しているが、全国レベルのものが無いため、知名度や注目度をもともと高い市町村と比較すると接触度が低くなっていると考えられます。 引き続き情報発信を各メディアに対し行うとともに、注目度の高い案件があればより大々的なPRをしていきます。
情報接触度（地域ブランド調査点数）	未達成	同上。
居住意欲度（地域ブランド調査順位）	未達成	順位付けのベースとなる点数は+0.4ポイントと上昇しましたが、相対順位なので7位ダウンする結果となりました。 (※当市がPRに注力したことに変わりはないが、他市町村がより一層力を入れて来たと考えられます。)
居住意欲度（地域ブランド調査点数）	達成	前年度+0.4ポイント。子育て世帯をメインターゲットに据え、移住PRを行った結果、居住意欲度が上昇したと考えられます。
あびこの魅力発信室が発信した情報のWEBニュース等での掲載回数	達成	各課からのプレスリリースやイベント情報をもとに、定期的に複数のニュースサイト等へ投稿した結果と捉えています。上記地域ブランド調査における、市への接触度向上のためにも、今後も継続して実施していきます。

5. 施策の評価

評価値	施策を主管する課長の評価コメント (理由、課題、改善点など)
順調	指標の各数値は未達成が多いが、地価の上昇率県内3位や7年連続の社会増などは、居住地としての魅力向上を示すものと考えられ、シティプロモーションの効果が表れていると考えます。

施策を主管する部長の評価コメント
市の認知度やイメージ向上を図るためには、市の魅力を積極的に発信する本施策は効果的であり、今後も推進していきます。